

栗原 茂夫（くりはら しげお）様

☆活動内容

人望が厚く、パソコン技術にも精通していることから、所属している老人クラブで様々な仕事を担っている。また、お達者体操やいきいき健康サロンの副代表としても活躍され、毎週集会所に集まり、体操をした後は、ゲーム、歌謡や踊り、脳トレなど多様なレクリエーションを実施して、地域の健康づくり活動に大きく寄与している。

☆活動を始めたきっかけ

坂戸市が健康寿命を延ばすことを目標に掲げて高齢者の健康促進に取り組み始めたと聞き、自分も、住んでいる地域で何か健康づくりに取り組める活動をしたいたと思うようになった。お達者体操やいきいき健康サロンが考案されてからすぐに研修を受けて、活動を始めて10年以上たった。現在でも、率先して活動が続けている。

☆活動のやりがい・今後の目標

今現在活動が続けているメンバーが高齢化していることから、今後は参加人数が減っていってしまうかもしれないと感じている。しかし、こうした健康促進の活動を続けて、地域の健康寿命を延ばすことが目標。活動を通じ、自分の健康を維持していくとともに、活動の場を維持していきたいと考えている。



吉田 武士（よしだ たけし） 様

☆活動内容

いきいき倶楽部というサークルで30年以上世話役として活動している。月1回活動をしており、サークルの中心となって活動内容を企画したり、買い出しや会計などの庶務の役割も担っている。遊びの内容も、料理、カラオケ、ゲームなど多様であり、活動の企画をする際は「参加者の持っているものを引き出せるような遊びを提案する」ことを心掛けているとのこと。

☆活動を始めたきっかけ

いきいき倶楽部の前身団体として、お茶飲み会があった。その活動をもっとたくさんの方が楽しめるように始めたのが、いきいき倶楽部である。当時の老人クラブの会長に声をかけられて、部長を務めることとなった。顔が広く、多彩なキャリアを持ち、人望が厚い。活動が続けられるのは、役員や参加者にもいろんな経歴の人がいるためである。

☆活動のやりがい・今後の目標

新型コロナウイルス感染症や参加者の高齢化により、以前よりも活動が縮小してしまっている状況である。今後、どのように活動を継続・発展させていくのかを考えているところである。しかし、そうして頭を悩ませたりすることが、自分にとっては楽しく、やりがいを感じている。町内を歩いていけば、顔見知りや声をかけてくれる。地域の人との交流を図れるところも活動の魅力である。



長沼 康弘（ながぬま やすひろ）様

☆活動内容

城山荘、ことぶき荘で実施しているカラオケで、自身が歌うことはもちろん、カラオケ会で、参加者が歌うための曲の入力を担っている。現在は12のカラオケ会に所属しており、日程が被らなければほとんど毎月参加している。歌う曲は場所によって合わせた選曲で、前回歌ったものと被らないようテレビをチェックしてレパートリーを更新している。

☆活動を始めたきっかけ

以前はテニスサークルに所属していたが、そこで知り合った人物の歌に感動して、本格的に歌に取り組むようになった。現在は12のカラオケ会に所属している。曲のレパートリーを増やすため、毎日テレビをチェックし、良いと思った曲を選定して練習している。これまで歌った曲は数多く、これからも増やしていく予定。

☆活動のやりがい・今後の目標

賞を取るために同じ曲を何回も練習して大会に臨むよりも、幅広いレパートリーを持ち、たくさんの歌を歌いたい。テレビをチェックし、選曲し、リストアップして手帳にまとめ、カラオケ会の前に練習しており、これを繰り返しているので健康によく、長寿の秘訣となっている。新しくレパートリーに入れた歌を歌いきれた時には達成感を感じる。



伊藤 智恵子（いとう ちえこ）様

☆活動内容

交流関係が広く、活発で経験豊富だったことから、地域で様々な活動に取り組んできた。日本舞踊、社交ダンス、華道、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ペタンク、カラオケ、茶話会など、活動は多岐にわたる。拠点となっている集会所が近いことから、会場準備などを担ってきたとのこと。現在でも時々顔を出し、差し入れをするなどして、仲間との交流が続いている。

☆活動を始めたきっかけ

生まれ故郷で自然や動物と多くふれあい、その後様々な仕事を経験してきたことで、幅広い興味を持ち、いろいろな人と交友を持つようになった。その広い交友関係は市内に住む方だけではなく、市外に住む知り合った人を講師として集会所に招き、新たな学びを得ることもあった。

☆活動のやりがい・今後の目標

現在でも、自転車に乗って出かけたり、家庭菜園、お料理、おしゃれなどを楽しんだりして生活している。お料理を作った時には近所の人に配ったり、天気の良い日にはグラウンドゴルフやペタンクの会場に行って差し入れをしたりして、交流を続けている。これからも出来る限りのことは自分でやり、長生きしていきたい。



栗原 正一（くりはら しょういち）様

☆活動内容

小学校の児童が登校する際の見守り活動として、集合場所から学校までの道のりを付き添って見送りを
する。スピードを出して走る車や、不審者から子供たちを守り、子供たちが安心安全に登校できるよう、
明るい蛍光グリーンジャケットを着て黄色い横断旗を持ち、子供たちの登校を見守っている。
天候に関わらず、毎日付き添っている。

☆活動を始めたきっかけ

昔は地域の子供たちの祖父母が自主的に見守りを行っていた。その後、地
域の老人会が、見守り活動を引き継ぐようになった。元々は別の人が見守
り活動をしていたが、その人が高齢により引退してしまった。当時民生委
員・児童委員の会長をしていたことで後任になってくれないかと声をかけ
られたことで、活動を引き継ぐようになった。

☆活動のやりがい・今後の目標

少子高齢化が進む昨今、地域でも見守り活動をしていた人たちが高齢化で
活動を継続できなくなってしまう、後継者不足が続いている。しかし最近
では、徐々に子育て世代が住む家が増え始めてきているので、子供たちが
安心安全に登校できるよう、今後も見守り活動を続けていきたいと考えて
いる。



恩田 英子（おんだ えいこ）様

☆活動内容

毎週開催されるいきいき健康サロンにほとんど欠かさず参加している他、老人クラブ内のカラオケ部に所属しており、過去には文化会館で行われる歌謡ショーに出場するなど、健康づくりの模範となっている。また、表千家の講師資格を持っていることから、所属する老人クラブで毎月開催されるお楽しみ会では、参加者へお茶をふるまったこともあった。

☆活動を始めたきっかけ

10年ほど前に、坂戸市へ引っ越してきたのだが、その際に地域の人に声をかけられて老人クラブやいきいき健康サロン、カラオケに参加するようになった。老人クラブのお茶会で茶道のお点前をしたのは、前に地域の公民館で茶道を教えていた経験からである。学生の頃に茶道をしたことがあり、子育てを終えてからまたやりたいたいと思うようになったので、50代で本格的に茶道をはじめた。その後資格を取り、教える立場になった。

☆活動のやりがい・今後の目標

いきいき健康サロンも老人クラブもカラオケも、もう十年近く続けている。

「来てくれればいい」と言われているので、行けるときに行くような形で参加している。活動の内容がとても充実しているので、長く続けることができている。自分でできることは毎日必ず一つはやるようにしており、今後も平穩に生活が続けていければいいと思っている。



田尻 誠(たじり まこと) 様

☆活動内容

所属する老人クラブの発足以降、長年にわたり役員などに従事し、活動に大きく寄与している他、グラウンドゴルフ部の中心となって健康づくりに邁進された。また、過去には老人クラブの役員や自治会の区長を務めたこともあり、現在でも小学生の登下校の見守りや地域の防犯活動に努め、地域のために活躍している。

☆活動を始めたきっかけ

自治会の区長や老人クラブの役員を務めていたこともあり、地域の人と交流があり、みんなでグラウンドゴルフをしたいという話になって、始めることとなった。当時、公園のグラウンドは草や石が多かったので、グラウンドゴルフを始めるにあたって、まずはグラウンドの整備から始めた。現在でも、グラウンドゴルフ部が率先して整備を行っている。

☆活動のやりがい・今後の目標

みんなが健康にグラウンドゴルフを続けられるように、部員の体調にはお互いに気を配っている。毎週練習を続けることでグラウンドゴルフがうまくなっていくと、やりがいを感じる。練習の際にもスコアを付けるが、いいスコアが出るとうれしい。特に、ホールインワンが出た時には、部員のみんなで盛り上がることができる。また、休憩や終了後にみんなで世間話をするのも楽しい。



内山 壽子（うちやま としこ）様

☆活動内容

自宅に多種多様なバラの木を数多く所有しており、過去にはオープンガーデンとして市民へ開放していた。春と秋が見ごろで、団体客や個人客など様々な人がバラを見に来ていた。今でも多くの植物を生育しており、豊かな緑に囲まれて生活されている。現在では、所属する老人クラブの活動に毎月参加している。

☆活動を始めたきっかけ

夫の趣味がガーデニングだったため、夫を手伝う形で自分もガーデニングをはじめた。バラの生育環境に合わせて現在の家に引っ越した。老人クラブも夫の趣味である。自分の性格はそれほど活発なわけではなかったが、夫に合わせてさまざまな活動に参加するようになり、現在でも可能な限りで続けている。

☆活動のやりがい・今後の目標

植物の生育も老人クラブでの活動も夫が始めたことがきっかけだった。自分は活動することに積極的な性格ではなかったが、夫を手伝うような形で自分も取り組むようになった。夫が続けてきた活動を今後も自分が継続させて、健康で長生きしていきたい。



榎本 宣道（えのもと のりみち）様

☆活動内容

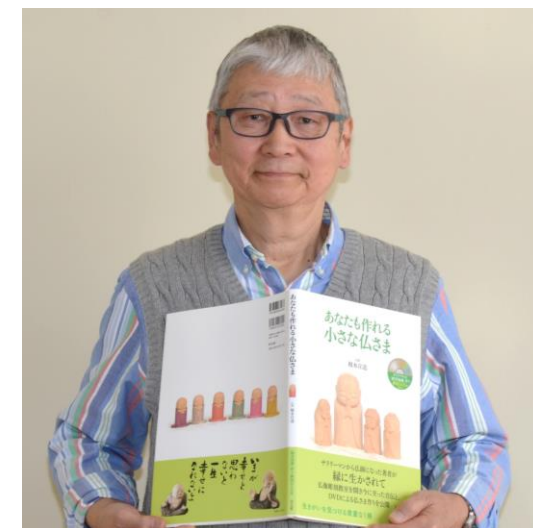
仏像彫刻の制作を通じ、地域の文化普及活動に取り組んでいる。坂戸市民塾では市民教授として、坂戸美術工芸クラブでは理事として、坂戸市文化団体連合会主催の「子供のための文化体験教室」では「石膏の仏像に着色する」講師として活躍。また、東日本大震災では10年間で地蔵菩薩像など1000体以上をNPO法人の活動として現地の寺院を通じ被災者遺族へ寄贈した。

☆活動を始めたきっかけ

25歳の時がむしゃらに仕事をしていて、このまま仕事だけをすることに疑問を感じていた頃、本屋で見た仏像彫刻の技法書と出会った。その本の著者である京都の大仏師を訪問し師事することとなり、以来50余年仏像彫刻と向き合っている。現在、市民塾での「見て学ぶ」教え方はこの先生に倣ったもので、深遠な仏像の制作過程を眼前でみることは興味や関心をより強く持ってもらえると考えている。

☆活動のやりがい・今後の目標

仕事の悩みなどを仏教関連の書籍が解決してくれたと感じている。そのため、仏教と接する機会を持つことで、自分のように、悩みから救われる人がいるかもしれないと考えた。仏教を広めるツールとして、また心のゆとりを創出する趣味として仏像彫刻を広めたいと考えているとのこと。



小幡 政弘（おばた まさひろ）様 小幡 勝江（おばた かつえ）様

☆活動内容

夫婦の仲が良く、老人クラブやみちくさ体操など地域の活動に参加している。また、夫である政弘氏は、自治会の区長を務められていたことがある他、生涯学習の一環としてご自身のアトリエや市外の公民館等で絵を教えていたことがある。現在でも生徒さんがアトリエへ絵を勉強しに来ており、展覧会での搬入や画材選びなどを一緒に行っている。妻の勝江氏は、坂戸市商工会の婦人や赤十字の役員を務められていた他、多趣味で木目込人形の制作、合唱、古典文学教室、御詠歌など様々な活動に参加していた。坂戸市の芸術文化祭では、政弘氏の絵がポスターに起用され、勝江氏の木目込み人形が出展されたことがある。



小幡 政弘（おばた まさひろ）様 小幡 勝江（おばた かつえ）様

☆活動を始めたきっかけ

生涯学習教室や地域活動に参加するきっかけは、2人がもつたたくさんの知人や友人の影響である。政弘さんの生涯学習教室は、知人から声をかけられたことがきっかけではじめてのものだったが、やがて生涯学習教室の話題が広まり、生徒が増えていった。勝江さんの地域活動も知り合いの誘いなどがあり、地域活動に参加するようになっていった。老人クラブ等は、昔ながらの地域のコミュニティの中で自然と参加するようになっていった。

☆活動のやりがい・今後の目標

政弘氏は絵画を極め、勝江氏は幅広くご趣味をお持ちである。ご夫婦で長く坂戸市に住んでいたことで、地域とのつながりが根強く、多様なつながりがある。政弘氏が過去に指導していた生徒さんとは、今でも関わりがあり、一緒にお茶を楽しむことがある。現在でも続けている老人クラブやみちくさ体操での活動は、内容が充実していて楽しい。



埼玉県芸術文化祭2024と地域文化事業

SAKADO CITY ARTS AND CULTURE FESTIVAL 坂戸市

2024. 11/15(金) - 11/17(日) 入場無料

作品展示 | 11月15日(金) ~ 17日(日) 10:00 ~ 17:00 (絵画、工芸、花、書、写真)
※ 17日(日) のみ 16:00 まで

舞台発表 | 11月16日(土) 10:00 ~ 16:00 (音楽、コーラス、楽器演奏、芸能)
11月17日(日) 13:00 ~ 16:00 (音楽、合唱、踊り部、よさこい、和太鼓)

茶席 | 11月17日(日) 10:00 ~ (先着100名) 観覧券 1枚 500円

主催 | 埼玉県、埼玉県教育委員会、坂戸市、坂戸市教育委員会、坂戸市文化団体連合会、埼玉県芸術文化振興委員会、坂戸市芸術文化振興委員会

会場 | 坂戸市文化会館 TEL. 049-283-1331

会期外イベントの開催 会場 | ①入西地域交流センター ②坂戸市文化会館

③生涯学習教室 10.20 ④ 12:00 ~	⑤クリスマスコンサート 12.7 ⑥ 13:30 ~	⑦バレンタインフェスティバルコンサートin坂戸 1.19 ⑧ 13:00 ~
----------------------------	-------------------------------	---